|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | **チェック項目** | **はい** | **どちらとも****いえない** | **いいえ** | **ご意見** |
| **環境・体制整備** |  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ２人33% | ２人34% | ２人33% |  |
|  | 職員の配置数は適切であるか | ３人51% | ２人33% | 1人16% |  |
|  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 1人16% |  | ５人84% |  |
| **業務改善** |  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ５人84% | 1人16% |  |  |
|  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ６人100% |  |  |  |
|  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ４人68% | ２人32% |  |  |
|  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ３人51% | ２人33% | 1人16% |  |
|  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ４人68% | ２人32% |  |  |
| **適切な支援の提供** |  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ６人100% |  |  |  |
|  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ４人68% | 1人16% | 1人16% |  |
|  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ６人100% |  |  |  |
|  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ６人100% |  |  |  |
|  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ６人100% |  |  |  |
|  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ６人100% |  |  |  |
|  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ６人100% |  |  |  |
|  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ５人84% | 1人16% |  | ・就業時間の都合 |
|  | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ６人100% |  |  |  |
|  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ６人100% |  |  |  |
|  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ６人100% |  |  |  |
| **関係機関や保護者との連携** |  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ６人100% |  |  |  |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ６人100% |  |  |  |
| ㉒ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ３人50% | ３人50% |  |  |
| ㉓ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ３人50% | ３人50% |  | ・事例が少ない。・今年度該当者なし。 |
| ㉔ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ３人51% | ２人33% | 1人16% |  |
| ㉕ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか |  | 1人16% | ５人84% | ・地域のイベントを確認して、楽しめる内容が参加できればと思います。 |
| ㉖ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ２人33% | ４人67% |  | ・手をつなぐ育成会。 |
| ㉗ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ５人84% | 1人16% |  |  |
| ㉘ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ３人50% | ３人50% |  |  |
| **保護者への説明責任等** | ㉙ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ６人100% |  |  |  |
| ㉚ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ６人100% |  |  |  |
| ㉛ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ２人33% | ２人34% | ２人33% | ・保護者参加の会を設けているが、あまり挨拶せず。方法の変更を要検討。 |
| ㉜ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ５人84% | 1人16% |  | ・体制整備はすすめているが、周知の点で不十分。 |
| ㉝ | 定期的に通信等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ６人100% |  |  |  |
| ㉞ | 個人情報に十分注意しているか | ５人84% | 1人16% |  |  |
| ㉟ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ６人100% |  |  |  |
| ㊱ | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか | ２人33% | ２人34% | ２人33% | ・地域の人に協力していただく形で行っている。 |
| **非常時等の対応** | ㊲ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ５人84% |  | 1人16% | ・防犯マニュアルも含め、次年度に母体全体で取り組む予定。 |
| ㊳ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ６人100% |  |  |  |
| ㊴ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ６人100% |  |  |  |
| ㊵ | どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ３人51% | ２人33% | 1人16% | ・拘束事例なし。・㊲同様。 |
| ㊶ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか | ４人68% | 1人16% | 1人16% | ・事例なし。 |
| ㊷ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ５人84% | 1人16% |  |  |